

## 付録 30

### 一夫多妻制

一夫多妻制は、1400 年前にコーランが啓示されるまで、人類社会において一般的な生活形態の一つだった。地球がまだ人口の少ない時代には、一夫多妻制は人口を増やし、神の計画を遂行するために必要な人類をもたらす手段の一つであった。しかし、コーランが啓示された頃には世界人口はすでに十分に増えており、コーランは一夫多妻制に対して初めて制限を設けた。コーランでは一夫多妻制は許されていますが、それは厳格な条件のもとのみである。この神の許可を乱用すれば、重大な報いをこうむる。したがって、一夫多妻制が許されるかどうかを判断する前に、自分たちの状況を慎重に検討しなければならない。

この点における最も完全な模範として、預言者ムハンマドが挙げられる。彼は妻ハディースが亡くなるまで、彼女だけを妻としていた。子どもたちも、ほとんどがハディースとの間に生まれた。つまり彼女と子どもたちは、25 年間にわたり預言者の完全な愛情と関心を受けていたことになる。実質的にムハンマドは 25 歳から 50 歳まで一人の妻だけを持っていた。その後の人生の残り 13 年間に於いて、彼は多くの子どもを残して亡くなった友人たちの年配の未亡人と結婚した。子どもたちには父親の存在が必要であり、預言者はそれを与えた。孤児のために父親的存在を提供することが、一夫多妻制を支持する具体的状況としてコーランで言及されている唯一の例である。(4:3)。

未亡人との結婚以外では、預言者の人生には三つの政治的な結婚があった。親しい友人であったアブー・バクルとウマルは、家族的な結びつきを築くため、自分の娘アイシャとハフサとの結婚を強く望んだ。三つ目はエジプトのマリアとの結婚であり、これはエジプトの支配者から友好の政治的しるしとして与えられたものだった。

この完璧な模範が教えてくれるのは、幸福で健全な家庭を築くためには、男性は妻と子どもに対して全神経を注ぎ、忠実であらねばならないということである。コーランは、非常に強い言葉で一夫多妻制への制限を強調しています。コーランは一夫多妻制への制限を非常に強い言葉で強調している。「もし複数の妻を公平に扱えないことを恐れるなら、一人で満足しなさい。」(4:3)「どれほど努力しても、一夫多妻関係において完全に公平になることはできない。」(4:129) これらの制限は、神の法が乱用される可能性を示している。したがって、神の法が決して乱用されないと確信できない限り、欲望を抑え、一夫多妻制を避けるべきであると指摘している。

コーランによる一夫多妻制への制限は、神の法が悪用される可能性を指摘している。したがって、神の法が守られると絶対的な確信がない限り、自らの欲を抑え、一夫多妻制を避けるべきです。状況が一夫多妻制を不可欠としないのであれば、一人の妻と一組の子どもたちに全精力を注ぐべきであろう。

特に一夫多妻制が禁止されている国々では、子どもたちの心理的・社会的幸福を考えれば、ほぼ例外なく一夫一婦制が求められる。一夫多妻制を検討するには、いくつかの基本的な基準を守らなければならない。一夫多妻制を考える際には、次の基本条件を守らなければならない。

1. それは苦痛や苦しみを和らげるものでなければならず、いかなる苦痛や苦しみも引き起こしてはならない。
2. もしあなたに若い家族がいるならば、一夫多妻制はほぼ確実に（神の法の）悪用である。
3. 若い妻に乗り換えるための一夫多妻制は、神の法の悪用である（4:19）。